

学校だより 9月号



絆



令和8年9月18日

東広島市立平岩小学校

学校教育目標

「かしこく やさしく つよく」生きる子どもの育成

E-mail hiraiwa-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

HP URL <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/hiraiwa-sho/>

暑い！アツイ！ 平岩の夏！ が終わり、 前期後半、元気にスタートしました

長かった夏休みが明け、校舎にグラウンドに子供たちの明るい声と元気な笑顔が戻ってきました。夏休み中は、ご家庭や地域でのあたたかい見守りとご協力、誠にありがとうございました。ひとまわりたくましく成長した子供たちと再会できたこと、教職員一同うれしく思っています。まだまだ残暑厳しい毎日ですが、学校のリズムを取り戻して、一人一人が自分らしく輝けるような毎日にしていきたいと思っています。前期後半も、よろしくお願いします。



夏休み 開放プール

今年も10名のプール管理指導監視員さんが酷暑の中、監視指導をしてくださいました。数日、暑さ指数等の関係で中止日がありましたが、事故なく安全に開放プールを実施することができました。「たくさん泳いで、水と仲良しになったよ。」「長く泳げるようになったよ。」と、話してくれた子もいました。

市内水泳記録会出場 上位入賞おめでとう！

8月4日、黒瀬屋内プールにて、標準タイムを突破した10名の6年生の代表選手が水泳記録会に出場しました。この日までに強化練習を重ね、全員の選手が自己ベスト記録！だけでなく、上位入賞の好成績を収めることができました。



全校登校日 平和学習

8月6日の全校登校日には、各学級で平和学習を行いました。全校児童が「平和祈念式典」を視聴し、黙とうを捧げ、続いて「平和宣言」や子供達の「平和への誓い」を真剣に聞きました。日々の生活を振り返り、平和について考える良い時間になりました。



「東広島市戦没者追悼式 並びに 平和祈念式典」に参列しました

8月18日(火)、本校の6年生児童11名が「東広島市戦没者追悼式 並びに 平和祈念式典」に参列しました。その中で、代表児童4名が「平和メッセージ」を発表しました。ステージの上で緊張しながらも、最後まで力強く頑張りました。大変貴重な経験となったことと思います。



「第43回平岩まつり」が 盛大に開催されました

8月22日(土)、本校グラウンドにて平岩「絆」プロジェクト実行委員会主催のもと、「平岩まつり」が盛大に開催されました。この日までに「平岩音頭」の練習や綿密な協議を重ねてこられた委員の皆様、深く感謝申し上げます。

本校の子供たちも多く参加し、お祭りを楽しむ姿が見られました。祭りのクライマックスは伝統の「平岩音頭」。多くの皆様の光景に、ふるさと平岩の「絆」を改めて感じました。



今後の行事予定

☆10月9日(金) 前期末個人懇談 午前

10日(土) 前期末個人懇談 終日

※ 全保護者対象

駐車場は校庭、最徐行にてお願いします。

☆10月18日(日) PTA 環境美化作業

9:00~11:00(受付8:30)

集合場所：平岩小学校グラウンド

多くの皆様のご協力をお願いします。

☆10月30日(金) 道徳参観日

1時間目授業参観(道徳) 8:30~9:15

保護者の皆様のご参加をよろしくお願いします。

☆11月7日(土) 学習発表会 午前開催

9日(月) 振替休日

☆11月19日(木) 「元気・絆・フェスティバル」

6年生寺家会主催行事に参加 inくらら



令和8年度 10月学校行事予定

東広島市立平岩小学校

日	曜	学校行事・PTA行事	下校時刻
1	木	放課後子供教室中学年 避難訓練(地震)	1~6年:14:55 学年下校
2	金	磯松中オープンスクール	1,2年:14:35 3~5年:15:30 6年:16:00
3	土		
4	日		
5	月	委員会 人権教室2年②	1~4年:14:35 5~6年:15:30
6	火		1年:14:35 2~6年:15:30
7	水	避難訓練(地震)(予備日) 頼常先生太鼓指導(6年生⑤⑥体育館)	1~2年:14:35 3~6年:15:30
8	木	6年「平岩の絆」田部先生来校 ③④ 心サボ相談日 放課後子供教室高学年	14:55 一斉下校
9	金	4時間授業 前期終業式・個人懇談会(午後)	1~6年:13:10 学年下校
10	土	個人懇談会(終日)	
11	日		
12	月	スポーツの日	
13	火	秋季休業 教職員振替休日	
14	水	秋季休業	
15	木	後期開始・後期始業式 4時間授業 体育振興会役員・代議員会	1~6年:13:25 学年下校
16	金	5時間授業	1~6年:14:35 学年下校
17	土		
18	日	PTA環境整備9:00~11:00 是非ご参加ください。ご協力お願いします。	
19	月	クラブ 引き落としお知らせ配布日	1~3年:14:35 4~6年:15:30
20	火	5年社会見学(マツダミュージアム・平和公園)	1年:14:35 5年:16:00 2,3,6年:15:30
21	水		1~2年:14:35 3~6年:15:30
22	木	心サボ相談日 放課後子供教室低学年	14:55 一斉下校
23	金	平岩ゼミ SC相談日	1~6年:14:35 学年下校
24	土	市内小学校陸上記録会	
25	日		
26	月	5時間授業	14:40 学年下校
27	火	第2回学校運営協議会	1年:14:35 2~6年:15:30
28	水	頼常先生太鼓指導(6年生⑤⑥体育館)	1~2年:14:35 3~6年:15:30
29	木	4時間授業 就学時健康診断	1~6年:13:10 学年下校
30	金	道徳参観日 8:30~9:15	1~2年:14:35 3~6年:15:30
31	土		

※裏面に、今年度5月に実施しました「全国学力・学習状況調査結果分析及び今後の取組を掲載しております。ご覧ください。

全国学力・学習状況調査の結果分析および今後の取組について

東広島市立平岩小学校

1 全国学力・学習状況調査の結果と分析

項 目	平岩小	広島県	全国
友達関係に満足していますか。	96.0	91.8	91.1
学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	95.3	86.9	85.7
授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	95.9	92.0	92.4
学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	74.3	81.0	81.5
	国語科平均正答率(%)	算数科平均正答率 (%)	
東広島市立平岩小学校	66	62	
広島県（公立）	64	58	
全国（公立）	60.9	56.4	

国語科

○国語科の本校正答率は、全国平均を約2ポイント上回り、広島県と同等の正答率でした。全体的に国語科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- 文章を引用して、指定された条件に合わせ、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題（正答率 35.1%）
【抜き出した部分はかぎ（「 」）でくくり、引用した部分と自分の考えと区別して 140 字以内で書く】
- 説明文の中から、目的に応じて必要な情報を見つける問題（正答率 55.4%）
【選択肢の中から、「苦手だけど好きなもの」の例になっているものを選ぶ】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかを問う問題（正答率 37.8%）
【「不思議」を正しく漢字で書く】

(今後の取組)

- 説明文の学習では、筆者の主張を読み取り、文章の要旨を正確に捉えることができるよう、語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつないだりして、文と文の関係や段落相互の関係を視覚的に明らかにしながら読む指導を行います。
- 各学年の「書く単元」において「条件に合わせて文章を書く」経験を積み重ねられるよう指導していきます。
- 音読、読書などに取り組ませ、長い文章を読むことに慣れるようにしていきます。
- 帯タイムを活用し、繰り返し漢字の学習に取り組む時間を確保します。

算数科

○算数科の本校正答率は、全国平均、県平均ともに上回っていました。全体的に算数科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- 二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題（正答率 21.6%）
【前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く】
- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選択する問題（正答率 27%）

- 【赤いテープの長さが白いテープの長さの 1.5 倍になっている図を二つ選ぶ】
- 図形の構成要素に着目して、直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する問題（正答率 35.1%）
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるか判断する問題（正答率 39.2%）
【二つの広場の混み具合を求める式の意味について正しいものを選ぶ】

(今後の取組)

- 問題を解くだけでなく、なぜその式になるのか、どのようにして求めることができるのかなど、自分の考えを説明する時間を確保します。その際、ペアトークやディスカッション等を通して対話的な学びの時間を確保し、よりよい説明ができるようにしていきます。
- ICT を活用したり、問題文に線を引いたり、図を書き込んだりさせることで、それぞれの問題場面を具体的にイメージできるようにしていきます。さらに、多様な方法で問題解決ができる場面を仕組んでいます。
- 正答率の低かった単元の問題について、帯タイムを活用して定着を図ります。

2 児童質問紙（特に注目する内容）

肯定的な回答をした児童の割合（%）

○上の表の結果から、「友人関係への満足感」が高く、友達との話し合いを通じて自分の考えを深めたり、互いを尊重しながら協力して課題解決に取り組んだりすることに強い肯定感をもっていることが分かります。友達の考えを大切にしながら協働して活動する土台はしっかりと育っていると言えるでしょう。
しかしながら、「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めること」について肯定的な児童の割合は、広島県や全国の平均値と比較すると低い結果となりました。普段の良好な人間関係が、集団の課題をみんなが納得できるように解決する実践力にまで結び付いていない点に課題が見られます。

(今後の取組)

- 授業の中で、自ら計画を立て、調べたり考えたりする学習や、友だちとの「学び合い」を軸とした学習などを取り入れ、自主的な学習の力や、多様な考えを取り入れ、深めていく力を育てていける授業を展開していきます。
- 構成的グループエンカウンター等の取組を学級活動に取り入れて、お互いに認め合い、協力し合う学級づくりを進めていきます。
- 児童自身に目標を立てさせて、その目標に向かって努力を積み重ねていく学習を進めます。
- 将来の社会的自立・職業的自立に向けて、「なりたい自分」をイメージし、それに向けて逆向き設計のできるキャリア教育の充実に取り組みます。